

MONITOUCH V9 series

Web Machine Interface [FAQ]

2016年7月

Ver. 2.0

発紘電機株式会社

Q1) “Web Machine Interface(WMI)”とは何ですか？

“Web Machine Interface(WMI)”とは、発紘電機がV9シリーズにおいて独自に提供するVPN・クラウドサービスを総称したもので、ハード(HMI)の提供とは一線を画したサービスを指します。

※ “Web Machine Interface(WMI)”は発紘電機による造語です。
従来のHMI(Human Machine Interface)は、現場の作業者の操作性を追求するものでしたが、WMIは現場の情報をWebに渡して活用する画期的なサービスです。

Q2) “Web Machine Interface(WMI)”ではどんなことができるのですか？

“Web Machine Interface(WMI)”では次の二つのサービスを提供します。いずれのサービスもインターネット接続環境があれば、簡単・安心・低コストでサービスを楽しむことができます。

(1) VPNリモートアクセスサービス

遠隔地にあるV9シリーズおよびV9シリーズにEthernet接続された機器(PLCやネットワークカメラ等)にリモートアクセスし、モニタ・操作・変更ができます。

(2) クラウドデータ活用サービス

V9シリーズのログデータ等をクラウドサーバ内に格納したり、クラウドサーバに格納されたファイルを現場のV9シリーズが読み込み・更新できます。

Q3) VPNとは何ですか？

VPN(Virtual Private Network)とは、インターネット上に仮想的な専用回線を構築する技術・サービスを指します。企業内ネットワークの拠点間接続などに使われ、あたかも自社ネットワーク内部の通信のように遠隔地の拠点との通信が行えます。従来の専用線敷設と比較して低コストでサービスを楽しむことができます。また、通信データは認証や暗号化で厳重に保護・管理されるため、混信や漏洩、盗聴などの危険性が低い点が特長です。

発紘電機が提供する“Web Machine Interface(WMI)”では、上記の低コスト・安全に加えて、ルータの設定をはじめとした高度なIT知識が不要で、グローバルIPアドレスの取得やVPNルータの準備が不要な点も大きな特長です。

Q4) VPNルータなしでVPN接続ができるのはなぜですか？

本来、VPN接続を実現するには接続元と接続先の両方にVPNルータが必要です。

V9シリーズは全機種においてVPN機能を標準搭載しているため、V9シリーズが1台あればVPNルータなしでVPN接続を実現できます。また、弊社が提供する“Web Machine Interface(WMI)”サービスはTLS方式を採用しており、クライアント(PC)側にはVPNルータ不要で、Webを利用できる環境さえあれば管理ツール(V-Connect)だけでVPN接続できます。

Q5) グローバルIPアドレスの取得が必要ですか？

弊社が提供する“Web Machine Interface(WMI)”では、グローバルIPアドレスを使用することなくVPNリモートアクセスサービスとクラウドデータ活用サービスを提供します。

“Web Machine Interface(WMI)”をご利用いただくことで、複雑な設定やIT知識不要で簡単に遠隔地の情報取得を実現できます。

Q6) データの改ざんや盗聴への対策はどうなっていますか？

VPNリモートアクセスサービスでは、インターネットで標準的に用いられている暗号化プロトコルのTLS暗号化方式を採用しています。また、クラウドデータ活用サービスではHTTPS方式を採用しています。

データの改ざんや盗聴を防止するためにパケットを暗号化して通信します。また、暗号化に加えて、パケットに新しいヘッダを付け加えてカプセル化するトンネリング技術を併用しています。パケットを暗号化して、さらにトンネリングすることで、安心・安全な接続環境を提供します。また、ドメイン名やID・パスワードを入力し、認証サーバで認証された場合のみ接続が可能になります。

これらの対策によりデータの改ざんや盗聴を防ぎ、安全な接続を実現します。

Q7) VPNサービスは海外へのリモートアクセスも可能ですか？

インターネットを介したサービスであり、国内外を問わずリモートアクセスが可能です。

また、ライセンスの申込も国内外を問わず受付しています。

Q8) “Web Machine Interface(WMI)”とは別の、独自に敷設した既存のサーバ(VPN/クラウドサーバ)に、V9シリーズとその管理ツール(V-Connect/V-CloudDataManager)を使ってアクセスすることは可能ですか？

“Web Machine Interface(WMI)”は弊社が敷設するVPNサーバ/クラウドサーバにのみ対応します。

したがって、V9シリーズとWeb Machine Interface用管理ツールを使ってお客様が独自に敷設しているサーバにアクセスすることはできません。

Q9) 接続先のV9シリーズのネットワークすべてにVPNリモートアクセスができますか？

LANポート2CH対応モデルであれば、ルーティング機能を有しているため、V9シリーズとEthernetで接続している機器へのアクセスが可能です。

主な接続例として、V9シリーズへのリモートアクセスのほか、V9シリーズとEthernet接続したPLCへのラダーアクセスやネットワークカメラ等へのアクセスが可能です。

Q10) V9シリーズが介在しない状態でも“Web Machine Interface(WMI)”サービスは利用できますか？

“Web Machine Interface(WMI)”は、V9シリーズがあってもはじめてサービス提供が可能になります。

したがって、V9シリーズが介在しない状態ではサービスを適用できません。

Q11) 機器ごとにVPNリモートアクセスの許可・禁止の設定はできますか？

機器ごとにVPNリモートアクセスの許可・禁止の切替えはできません。

ルーティング機能に関しては、デフォルトゲートウェイがV9シリーズのIPアドレスに指定されている機器にはリモートアクセスが常に許可されます。反対にデフォルトゲートウェイがV9シリーズのIPアドレスではない機器にはリモートアクセスができません。

Q12) サーバメンテナンス等でサービスが一時的に停止することはありますか？

定期的なサーバメンテナンスがあります。サーバメンテナンスに関する情報は、弊社ホームページにて公開致します。なお、緊急メンテナンスはこの限りではありません。

Q13) 接続元と接続先で、最低限設定しなくてはならないことはありますか？

本サービスのご利用にあたり、ご利用形態に応じたライセンス申請が必要です。

※弊社ホームページから申込書のダウンロードが可能です。

※VPNリモートアクセスサービスとクラウドデータ活用サービスのライセンスは、それぞれ別々に存在します。

接続元には管理ツールのインストールと初期設定(アクセス先の情報登録)が必要です。

また、接続先のV9シリーズにはローカル画面でドメイン名・アクティブIDの登録が必要です。

Q14) “Web Machine Interface(WMI)”サービスはどのポートNo.を使用するのですか？

本サービスはポートNo.443を使用します。一般的にポートNo.443はHTTPS接続用のポートで、セキュアなウェブページを閲覧するためのポートです。ポートNo.443を閉じている場合や一定時間でセッションを切断する設定がある場合には、ファイアウォールの設定で同ポートを常時開くようにしてください。

※ファイアウォールの設定について詳しくは、貴社のネットワーク管理者にご確認ください。

※一般的なHTTPSプロトコルを使用していますので、通常は改めてファイアウォールの設定変更は必要ありません。

Q15) 365日常時接続は可能ですか？

利用規定上の制約はありません。但し、以下の理由により切断される場合があります。

(1) サーバ定期メンテナンス

(2) 利用者側のファイアウォールにて、一定時間以上のHTTPSアクセスを禁止している場合
(詳しくは、貴社のネットワーク管理者にご確認ください。)

Q16) VPNリモートアクセスサービスのライセンス・費用体系はどうなっていますか？

ライセンスにはフリーライセンスと有償ライセンスの2種類あります。

フリーライセンスは30日間無料でお試しいただけます。

有償ライセンスには「Value」「Simple」「Wide」「Extra」の4種類を設けており、それぞれV9シリーズの最大登録数が異なります。詳しくは“Web Machine Interface(WMI)”のマニュアルまたはカタログをご覧ください。

Q17) VPNサービスのフリーライセンスで使用したドメインをそのままライセンス購入時に使用できますか？

使用可能です。

但し、フリーライセンス終了からご購入までの間に、そのドメインが別のライセンスで申請・登録された場合は使用できなくなります。

Q18) VPNサービスのフリーライセンス期間を延長できますか？

フリーライセンス期間の延長はできません。

有償ライセンスへの切替えをお願いします。

Q19) 管理ツールはどのような種類があるのですか？ また管理ツールは無償ですか？

VPNリモートアクセスサービスとクラウドデータ活用サービスのそれぞれで管理ツールが異なります。

VPNリモートアクセスサービスの管理ツール：V-Connect

クラウドデータ活用サービスの管理ツール：V-CloudDataManager

いずれの管理ツールも弊社ホームページから無償でダウンロードできます。

Q20) ライセンスの途中解約は可能ですか？

運用の中止は可能です。但し、ライセンス費用・更新料の返金は致しません。

Q21) ライセンス契約後にライセンスプランを変更できますか？

アップグレードは可能です。費用については、(「変更後の契約プラン」－「変更前の契約プラン」)の差額で対応致します。

但し、更新月は初回契約の更新月のままで、更新費用はその時点(変更後)のご契約プランになります。

なお、ダウングレードはできません。

Q22) 更新締切に、更新料の発注が間に合いません。更新猶予は可能ですか？

必ず更新前に発注をお願いします。更新日を過ぎると使用できなくなります。(日本時間)

Q23) ドメイン登録後、ドメイン名を変更できますか？

ドメイン名の途中変更は対応できません。

Q24) パスワードはユーザで任意に変更できますか？

パスワードの任意変更が可能です。

Q25) V9が故障し代替品を取り付ける場合、アクティブIDはどうなりますか？

故障品のアクティブIDを代替品に登録して頂く必要があります。

アクティブIDはライセンスに応じた数量のみの発行となります。

Q26) サービスの再販は可能ですか？

ご契約頂いたお客様の事業に組み込んで頂くことは可能です。

但し、利用者情報は開示して頂きます。また、運用ルール等は弊社基準の規定に準拠して頂きます。

Q27) ライセンスの登録はEXCELシートに限りますか？

EXCEL形式の専用申込書による受付に限定しています。弊社ホームページにてダウンロード環境を整えているEXCELデータにてライセンス申込み・申請をお願いします。

**Q28) 申込時に管理者や申請者を仮登録として、セットメーカーや代理店の名前で登録してしまった。
最終決定後に登録情報を変更できますか？**

本サービスには、お申込みの企業様・実際に運用される企業様の情報が必要です。
弊社からV9に組み込むアクティブIDを発行する場合には、実際に使用される企業様宛に発行します。したがって、最終決定後に申込書を申請してください。
なお登録情報の修正は受付可能ですが、変更数日間のお時間を頂く場合があります。

Q29) 3GやLTE対応のルータやSIMカードの販売もしていますか？

再販としてルータやSIMカードの取扱い・販売をしています。
詳しくは弊社営業までお問合せください。

Q30) クラウドデータ活用サービスだけのライセンス申込みは可能ですか？

クラウドデータ活用サービスは、VPNリモートアクセスサービスの有償ライセンス契約を前提としたサービスです。
そのためクラウドデータ活用サービスだけのライセンスは受付しておりません。

Q31) VPNとデータ活用の両ライセンスを契約している状態で、VPNライセンスの更新をせずにデータ活用サービスのライセンスだけを更新することは可能ですか？

クラウドデータ活用サービスだけを継続することはできません。
ただし、VPNとデータ活用のライセンス契約期間が異なり、データ活用ライセンスだけが一定期間存続する場合に限り、クラウドデータ活用サービスだけを次の更新タイミングまでご利用いただくことは可能です。

Q32) クラウドデータ活用サービスのディスク容量を変更することは可能ですか？

アップグレード(500MBから1GBへの変更)は可能です。費用については、(「1GB契約プラン」―「500MB契約プラン」)の差額で対応致します。
但し、更新月は初回契約の更新月のままで、更新費用はその時点(変更後)のご契約プランになります。
なお、ダウングレードはできません。

Q33) すべての国・地域で暗号化通信を行うことができますか？

国・地域によっては暗号化通信を規制している場合があります。
そのような場合は非暗号化通信モード（V9シリーズ本体で設定）を選択してください。
使用される国・地域が暗号化通信の規制対象であるかどうかはお客様にてご確認願います。

2014年7月	初版
2016年7月	第2版

発紘電機株式会社
